

【地域との連携】

鳴門教育大学附属特別支援学校の南側に「渭北子ども広場」があります。この広場は1995年に徳島市が整備し、その後、地域住民の方たちによって結成された「渭北子ども広場を美しくする会」の皆さんが、ボランティアで花木の植樹や手入れや清掃等の活動をしてくださっています。この「渭北子ども広場を美しくする会」の里見正威代表は、長年、本校で高等部の生徒に陶芸をボランティアで教えてくださっています。

花壇には四季折々の花が植えられています。春にはチューリップやパンジーが咲き、秋にはコスモスが風に揺れています。夏には地域の方が植えられた木々が涼しい木陰を作っています。放課後には中学生のグループが広場の机で宿題？を広げて勉強していたり、休みの日には親子連れが鉄棒の練習に来ていたりします。遊びに来ている小学生たちに「こんにちは」と声をかけると元気よく「こんにちは」がかえってきます。小さな子どもが「このお花なあに」とおばあちゃんやおじいちゃんに聞いています。色とりどりの花と子どもさんの写真を撮りにきている親御さんもいます。新型コロナウイルス禍の前には地域の方が朝集まってお茶会をしていたそうです。地域に根付いた地域に愛されているすてきな広場です。



10月26日火曜日、里見代表と本校高等部の生徒が、花壇に葉ボタンの苗を植えました。葉ボタンの苗は、吉野川市知恵島にお住まいの方から「お正月に向けて、学校にどうぞ」といただきました。いろいろな葉の種類を紅白セットでいただきました。彩りを考えながら植えました。



苗は、道路側の花壇に植えさせていただきました。生長が楽しみです。地域の方にも喜んでいただけたら嬉しいです。